



公益財団法人

福島県体育協会

福体協ニュース

令和元年12月18日 (No.19-8)

ふくしま広域スポーツセンターの活動について紹介します！

本協会の組織は、「競技スポーツ係」、「生涯スポーツ係」、「スポーツ少年団」、「ふくしま広域スポーツセンター」の大きく4つに分類されています。このうち、ふくしま広域スポーツセンターは、平成14年4月に開設され、誰もが気軽に組みあがるスポーツ環境の構築を目指し、「総合型地域スポーツクラブ」の創設・育成・定着のための支援を行っています。

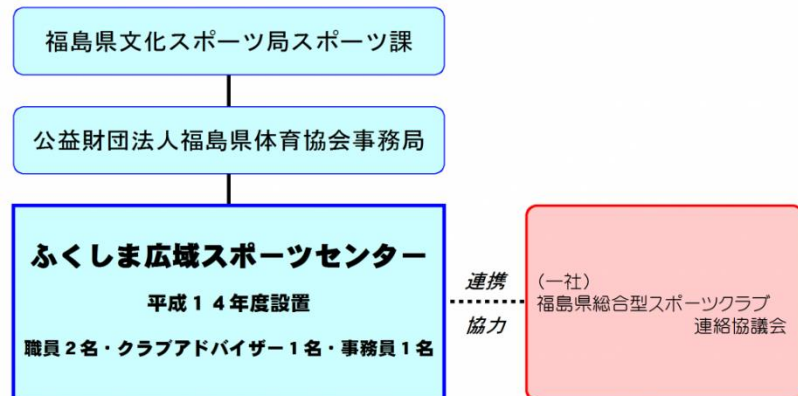
【ミッション】

県民の誰もがライフステージに応じたスポーツ活動を実践できる「生涯スポーツ社会の実現」を目指すため、総合型地域スポーツクラブの育成・定着をより一層促進させ、人と地域が活力に満ちあふれる活動ができるよう支援する。

【ビジョン】

地域の特性を生かした総合型クラブの自主・自立に向けた支援を行う。

各種団体との連携による総合型クラブの活性化を図る。



具体的な事業として、ふくしま広域スポーツセンターでは・既存クラブへの支援体制の充実（経営支援）・県内全ての市町村に総合型クラブの設立（創設支援）を重点事項とし、以下の3つの柱で事業を展開しています。

【企画運営】

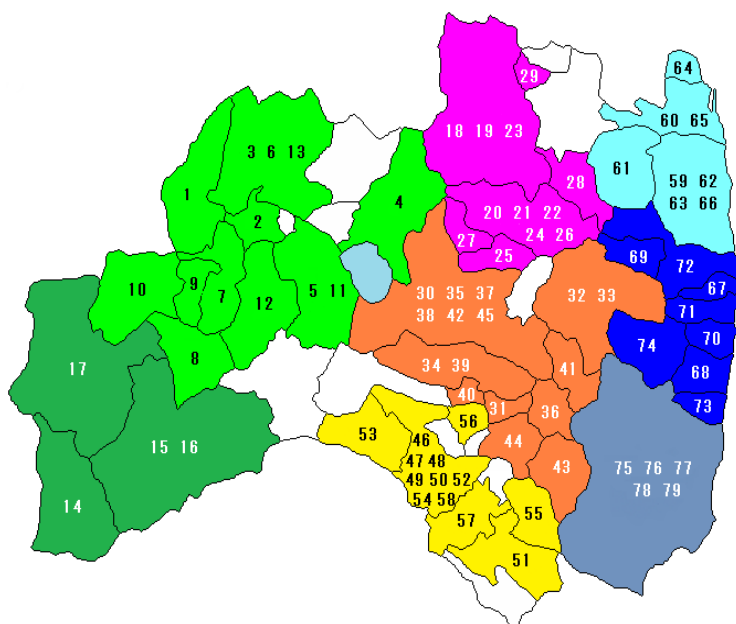
- 事業の企画・立案、情報交換を行います。
- 企画運営委員会の開催（年3回）

【広報啓発】

- 情報の提供を行います
- ホームページ更新・SNSによる情報の発信
- 広域広報誌（メール便）の発行

【育成支援】

- クラブ設立、クラブ活動支援に係わる事業を行います
- 市町村・クラブ訪問の実施
- 公認アシスタントマネージャー養成講習会の実施
- フォローアップセミナーの実施
- 各種団体連携事業の運営
- エリアネットワーク事業の実施
- 指導者・講師派遣補助事業の実施



こうした中で、2019年12月現在では、福島県内59市町村中47市町村に79の総合型地域スポーツクラブが設立しており、各クラブで様々なスポーツ活動が展開されています。各クラブのスタッフをはじめ、指導者や多くの関係者の皆様の高い志とたゆまぬ努力によって、スポーツを通じた地域の活性化やコミュニティの促進、健康や体力・競技力の向上にもつながっています。

現在、総合型地域スポーツクラブを取り巻く環境は決して平坦ではなく、まだまだ多くの課題があるのが現状です。しかし、本協会では引き続き、活動される県内すべてのクラブへの経営支援と、新たなクラブ創設支援の充実を図るべく、より一層努力して参ります。

*ふくしま広域スポーツセンターの事業の詳細については、本協会ホームページをご覧ください。

2019 年度総合型地域スポーツクラブフォローアップセミナーを開催しました！



令和元年 12 月 4 日（水）に、福島市のアクティブシニアセンターアオウゼにおいて、総合型地域スポーツクラブフォローアップセミナーを開催しました。県内外各地から、総合型スポーツクラブに携わっておられる方やスポーツ少年団関係者、市町村のスポーツ行政担当者や大学生など、計 47 名が参加されました。

今回のセミナーのテーマは『ジュニア期のスポーツ体制を支えるスポーツ少年団と総合型クラブの連携促進』で、コーディネーターとして澁谷 茂樹氏（笹川スポーツ財団 主席研究員）、パネリストとして蓮沼 哲哉氏（福島大学 人間発達文化学類 准教授）、半澤 勇一郎氏（福島県体育協会スポーツ少年団 係長）、佐藤 靖弘氏（福島県総合型スポーツクラブ連絡協議会 理事長）、半澤 由美子（ふくしま広域スポーツセンタークラブアドバイザー）の 5 名をお招きし、パネルディスカッション形式で会を進めました。はじめに、コーディネーターの澁谷氏に問題

提起をしていただき、地域スポーツにそれぞれの立場に関わる 4 名のパネリストが現状や具体策に関する発表をしました。

- ・ 澁谷氏 問題提起、総合型クラブとスポーツ少年団の実態
- ・ 半澤係長 福島県スポーツ少年団加入者の現状、指導者制度改定の背景
- ・ 佐藤氏 福島県内の総合型地域スポーツクラブの現状と課題、特に経営面
- ・ 蓮沼氏 子供へのスポーツの関わり方、子供の可能性を広げる環境作り
- ・ 半澤 CA 先進的に取り組んでいる総合型クラブの様子を紹介、取組のポイント

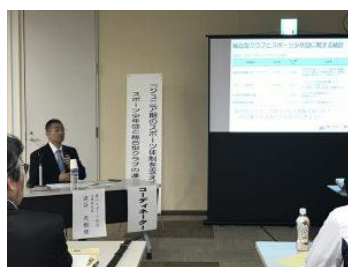
ディスカッションでは、コーディネーターとパネリストの意見だけでなく、フロアとして参加している受講者の方々にも質問や意見を出していただき、会場全体で議論を深めていきました。取り上げた話題は以下の通りです。

- ・ 総合型クラブとスポーツ少年団、行政がそれぞれに持つ印象について
- ・ 総合型クラブとスポーツ少年団が設立された背景と設立方法の違い
- ・ 総合型クラブとスポーツ少年団の共通点
- ・ 総合型クラブとスポーツ少年団の住み分け方や連携の仕方

今回は、具体的な連携例までは提案できませんでしたが、総合型クラブとスポーツ少年団、行政の三者の意見を交わす事ができる貴重な機会となりました。

最後のパネリストからの感想では、総合型クラブもスポーツ少年団も、抱えている課題と理念は同じなので、手を結び、10 年後の子供たちのために、大人がスポーツ体制を整えていきたいという声が聞かれました。また、受講者からのアンケートには、「それぞれの特性を活かし、子供のスポーツ環境を作っていきたい」「総合型クラブもスポーツ少年団も目指している所は同じである事が分かった」「今回のテーマは、地域の方も巻き込んで協議をする内容だった」等の意見が出されました。一方で、「現状の社会の仕組みでは、連携は難しい」「行政の支援は不可欠である」等の意見も挙げられ、引き続き三者での協議の場を設ける必要性も感じました。

本協会では、スポーツ少年団と総合型地域スポーツクラブとの連携促進に繋がれるよう、今後もこうした協議の場の企画・立案や情報提供活動にも力を入れていきたいと思います。



【コーディネーターの澁谷氏】



【パネリストの皆様】



【受講者の皆様】



【受講者からの質問・意見】